

令和2年度 県立高等学校入学者選抜学力検査結果分析

(県教育庁県立学校教育課資料抜粋)

本県の学力検査(入学者選抜試験)は、国・社・数・理・英の5教科、各教科60点満点、計300点で実施しています。中学校学習指導要領に準拠し、できる限り「基本的な事項」について出題され、理解力・応用力・考察力等が検査できることと、出題領域に偏りが無いようにするとともに、難易度のバランスに配慮されています。

1. 全受検者の平均点

	国語	社会	数学	理科	英語	総合
令和2年 3月実施	34.8	32.4	33.5	24.2	33.7	158.5

2. 合格者の平均点

	国語	社会	数学	理科	英語	総合
令和2年 3月実施	35.4	32.8	34.0	24.6	34.2	161.1

3. 過去5年間の合格者総合得点の平均点・全受験者平均点・最高点

	H28	H29	H30	H31	R2
受験平均	151.5	156.0	143.5	147.2	158.5
合格平均	156.5	161.2	147.8	150.1	161.1
合格最高	280	283	287	281	284

上記の結果から、昨年の学力検査は正答率が上がっていてH29の数値と似ています。

僅差で合否判定が左右される可能性があるため、より細かい対策が必要です

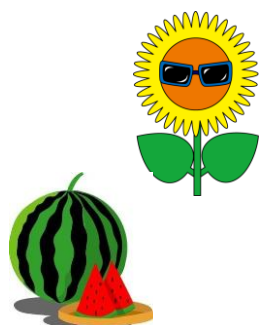
全教科、3学年間の総合的な学習の見直しと理・社の科目は多岐の分野にわたるため、学習計画を工夫したいところです。

今年度は、すでに入試範囲の縮小が通達されているため、問題傾向が変わる可能性があります。対策が取りにくいかもしれませんが、出題範囲が絞られてくるとプラス思考で学習に取り組んでほしいです！！

効果的な家庭学習を身につけよう！

9月11日(金)・14日(月)は、1学期期末テストです。定期テストの直前だけ勉強するのではなく、日頃から学習の振り返りや予習をする習慣を大切にしてください。三年生はそろそろ受験勉強に本腰を入れて取り組まなければならない時期でもあります。これからは家庭での学習が合否を左右します。効果的な学習法を身につけて力を伸ばしましょう。

家庭学習のポイント



ポイント1 始める前に気合いを入れろ！

「これから勉強・・・」というときは、誰でも気乗りはしない。そこで毎日机に向かう前に「大声を出す」「顔を洗う」「コップ1杯の水を飲む」など、自分なりの“気合い入れ”をする。それを合図に、気分を切り替えて勉強にかかる習慣がつけば、スムーズに勉強に入れる。



ポイント2 作業から始めてペースに乗ろう！

家で机に向かっても、やりはじめはなかなか集中できないもの。家庭学習では、英単語や漢字書き取り、計算問題など「作業的な勉強」から入ると、徐々にペースに乗っていく。調子が出てきたら、じっくりと考える問題にかかろう。最初から難問に取り組んでも、時間がムダになるだけだ。

ポイント3 短時間集中法で効果を上げる！

家庭学習の習慣がついていない人は、長時間机に向かっても必ず途中でエンストする。だから、最初は「30分やったら5分休憩」というように、自分の集中力が続く範囲で小刻みに勉強することだ。これをくり返しているうちに、だんだん長く机に向かっているようになる。

ポイント4 すきま時間を使いこなそう！

たとえ10分、15分でも時間は時間は貴重。ハンパな時間をいかに有効に使うかで大きな差がつく。腰をすえてじっくりやる必要のない暗記ものや、一問一答などは、夕食前・夜寝る前・勉強と勉強の合間などを利用してやろう。すきま時間だけでも、かなりの量の勉強がこなせる。

ポイント5 気分転換の達人になれ！

刺激や発奮材料がないと、家での勉強はなかなか進まない。ポイントは、マンネリからいかに脱出するかだ。勉強の合間の簡単な体操でも良い気分転換になる。集中力がとぎれてきたら、シャワーを浴びてカツを入れよう。また、机の上の整理や部屋の模様替えをすれば、やる気も倍増してくるぞ。

「やる気スイッチはどこにあるのか？」…とりあえず机に座る、手を動かす、何かを書く！

やる気を出すことは誰にとってもなかなか難しいことです。でもやっていく内に少しずつやる気は上がってくるもの…勉強に限らず何でも「はじめの一步」をスタートさせること、そうしなければ何も始まらないのです。

“Do it!” 「15分間今すぐできること～」など、目の前のことを頑張るという経験は将来の自分の支えになります。必ず将来のプラスになります。

適度な休憩を挟みながら体調に気をつけて頑張りましょう。